

WELFARE INFORMATION GIFU

福祉だより ぎふ

「福祉のお仕事フェアin西濃地域」を開催しました!

岐阜県福祉人材総合支援センターでは、1月15日(土)に大垣市情報工房で、感染症対策を施しながら、就職イベントを実施しました。

参加者の方は、関心ある分野の事業所担当者の方と熱心に面談をしており、「志望する分野のことが学べて良かった」「求職活動の有益な情報を得ることができた」といった感想を頂くことが出来ました。

次年度は、ホームページ等を活用して、より情報取得がしやすいフェアの開催を計画しておりますので、是非ともご参加ください。



今回は、高齢、児童、障がい各分野から20の求人事業所にご出展頂きました。



会場各所にコロナ対策をしながらの実施。また、岐阜県福祉人材総合支援センターの相談コーナーを設置し、福祉の仕事の総合的な相談に対応しました。

CONTENTS



- 令和3年度県内社会福祉事業従事者研修を終えて P 2
- 岐阜県セルフ支援センター令和3年度事業の紹介について P 4
- 福祉の職場の離職問題～その対策は～（その5） P 6
- 令和4年度「ボランティア活動保険」等改定のお知らせ P 7
- お知らせ P 8

令和3年度 県内社会福祉事業従事者研修を終えて

岐阜県社会福祉協議会（岐阜県福祉人材総合支援センター）では、県内の福祉の仕事に従事する職員のキャリアアップ・スキルアップを目的とした研修会を開催しています。

令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」）の影響を受け、Zoomを活用した研修を開催しました。受講者をはじめ、施設や事業所の皆様のご協力により、計画していた研修を全て開催することができました。

研修会の様子については、本誌の令和3年7月号及び10月号で一部ご紹介しましたが、改めて今年度の実施状況について振り返り、来年度のコロナを意識した研修運営についてご紹介します。

今年度の実施状況

今年度は、受講者が「会場受講」か「Zoom受講」を選択できる、ハイブリッド型で研修を実施しました。リスクマネジメントやクレーム対応などテーマごとに学ぶ「課題別研修」は、昨年度からZoom併用型研修を実施していましたが、全国社会福祉協議会のプログラムによる階層別研修「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」（以下、「キャリアパス研修」）は、今年度初めてZoom併用型で研修を実施しました。さらにキャリアパス研修では、グループワークが研修の中心となっているため、Zoomのブレイクアウトルーム機能を活用し、

Zoom受講者のみグループワークを実施しました。



▲Zoom併用型で行ったキャリアパス研修の様子

また、会場受講者が安心して受講できるように、今年度からサーマルカメラや足踏み式消毒スタンドを導入し、会場のコロナ対策をより強化しました。

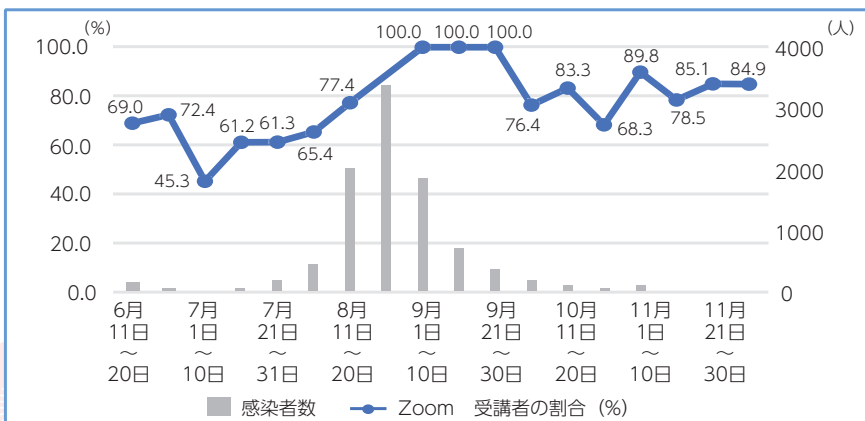


▲会場の受付の様子

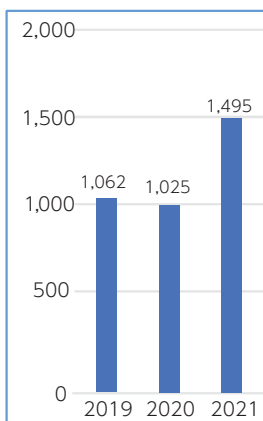
しかし、8月27日～9月30日に岐阜県で緊急事態宣言が発令され、一部会場が閉鎖されたことに伴い、9月に開催された3研修は、研修の実施方法をZoom限定の完全オンライン型に変更して開催しました。緊急事態宣言解除後は、Zoom併用型研修の実施を再開しましたが、Zoom受講を選択する受講者の割合が高い状態が続いていました（図表1）。これは、受講者や職員を送り出す施設事業所が、目まぐるしく変化するコロナの動向を注視して、研修の受講方法を検討していたことの表れと考えられます。

このようにコロナの状況に応じて受講方法を柔軟に選択できる方法により、結果として、受講者数は昨年度の約1.5倍の1,495名となり、より多くの方に受講していただくことにつながりました（図表2）。

図表1
岐阜県内感染者数の推移（人）と研修1日のZoom受講者の割合（%）



図表2
研修受講者数推移（人）



受講者の反応

研修後の受講者アンケートで、Zoom併用型研修について聞いたところ、次のような結果でした(図表3)。受講者の75・4%が「これからもZoom併用型を続けてほしい」と回答しており、そのうち78・4%の受講者が「感染症収束後も継続してほしい」と回答しています。

今後のZoom併用型研修について	
a これからも併用型を続けてほしい	75.4%
ア 感染症が続くまで	21.6%
イ 感染症収束後も継続して	78.4%
b 会場受講とZoom受講は別々にした方がいい	10.4%
c 収束後は従来の会場集合型に戻した方がいい	8.6%
d その他	0.9%
無回答	4.7%

図表3 受講者アンケートの結果

良かった点について、会場受講者からは「Zoomの操作に慣れておらず、会場で受講できて良かった」という意見があり、Zoomに不慣れな方や、Zoom受講ができる環境がない方からは、今後も会場受講を望む声がありました。また、Zoom受講者から

は、「研修会場まで移動しなくてよいため時間を有意義に使えた。」という意見があり、Zoomはコロナ対策だけでなく、遠方から参加する受講者の負担軽減にも大きく役立ちました。他にも、「Zoomのチャット機能で、講師に質問したり、他の受講者と意見交換がしやすい」という意見や、キャリアパス研修のZoom受講者からは、「ブレイクアウトルーム機能を使ったグループワークで、他の受講者と交流できて良かった」と、コロナ禍での受講者同士の交流を喜ぶ声もありました。

その一方で、会場受講者からは「会場受講者もグループワークや受講者同士の意見交換をしたい」という意見がありました。今年度はコロナ対策のため、会場受講者はグループワークではなく個人ワークを行いました。会場受講とZoom受講、どちらを選択しても、受講者同士の交流ができる研修実施が求められています。また、今年度キャリアパス研修で初めて行ったZoomのブレイクアウトルーム機能を使ったグループワークでは、会場集合型研修のグループワークとは違い、受講者は他のグループの様子を見ることができないため、「他のグループの進捗

状況が見えず、グループワークの進め方が分かりづらかった」や「グループの意見をまとめる前にグループワークの時間が終わってしまう、時間が足らなかった」という意見があり、Zoomでのグループワークの進め方が新たな課題となりました。

令和4年度の研修実施に向けて

今年度実施したZoom併用型研修の継続を望む声が多くあることから、来年度以降の研修も引き続き、Zoom併用型研修を実施してまいります。しかし、会場受講とZoom受講、受講者がどちらを選択しても満足できるように、今年度いただいた意見をもとに、さらに実施方法を工夫していく必要があります。

来年度からはキャリアパス研修だけでなく、課題別研修もグループワークを行います。その際、会場では受講者席にアクリル板を設置し、コロナ対策を徹底したうえで、会場受講者もグループワークを行える環境を整えてまいります。また、Zoom受講者のグループワークについては、受講者がスムーズにグループワークに取り組みめるよう、研修前にブレイクアウトルームのマニュアルやグループ

ワークの取り組み内容を配布したり、1グループあたりの人数を調整する等、更なる工夫を重ねてまいります。

また、研修を行っている様子やアンケートでいただいた受講者の声をセンターのホームページ等で紹介し、研修会場以外での受講者同士の交流の場を広げられるよう、様々な方法を模索してまいります。

本会研修は、これからも県内の施設や事業所の皆様にとつて、職員のキャリアアップ・スキルアップに役立つもの、岐阜県内各事業所の福祉サービスの質の向上に繋げるものでありつづけられるよう努めてまいります。

本会研修は、これからも県内の施設や事業所の皆様にとつて、職員のキャリアアップ・スキルアップに役立つもの、岐阜県内各事業所の福祉サービスの質の向上に繋げるものでありつづけられるよう努めてまいります。

〇お問合せ〇

岐阜県社会福祉協議会 福祉人材部
岐阜県福祉人材総合支援センター 研修担当
電話：058-278-1823 (研修直通)
メール：kenshu-center@winc.or.jp

研修情報の確認、申込はホームページ内の「岐阜県研修WINCシステム」をご利用ください。

QRコードはこちら→



岐阜県セルプ支援センター

令和3年度 事業の紹介について

岐阜県セルプ支援センター

じこさん

SELP（セルプ）とは、働く意欲がありながら、障がい等の理由により民間企業等に就職することが難しい人々のための就労の場のことです。また、自助自立を意味する英語「SELF HELP」からの造語であり、ハンディに負わず社会的自立を果たそうとする人たちの決意がこの言葉には込められています。



岐阜県セルプ支援センターは、障がい者就労支援事業所における生産・販売活動を一層推進するこ

とを目的として、平成8年9月に発足しました。当センターは、公共機関・民間企業等からの受注を確保することにより、障がい者就労支援事業所を利用して人たちの生活を充実させるとともに、事業の拡大・発展を目指しています。

障がい者就労支援事業所 商品の販売事業について

当センターでは、ショッピングモールでの展示販売会や他機関主催イベントへの出店、県内各地に常設した店舗において、障がい者就労支援事業所が製造した商品の売上アップに取り組んでいます。

①販売会・イベント出店

▼岐阜福祉の杜

「岐阜福祉の杜」は、集中レジ方式を取り入れ、駅や大型ショッピングモール等、人が多く集まる場所で開催しています。令和3年

度は、年9回、合計43日間にわたり開催し、各回とも約20事業所の商品を販売しております。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響により、来客数が伸びず、今年度の売上は厳しい状況ですが、各事業所が「魅せる売り場づくり」に取り組み、商品陳列を行っています。



▲「福祉の杜 in マーサ21」での出店販売の様子



▲「福祉の杜 in カラフルタウン岐阜」での出店販売の様子

今年度最後の福祉の杜は、イオンモール各務原で、2月15日（火）から2月18日（金）まで開催します。新型コロナウイルス感染症対策を十分に行って開催しますので、ぜひお立ち寄りください。（詳細は、本紙8ページに掲載）

▼SDGsじゅうろくマルシェ

12月14日（火）に十六銀行名古屋ビル（名古屋市中丸の内）前で開催された「SDGsじゅうろくマルシェ」に声かけいただき、3事業所が出店しました。県外で開催されたイベントへの初めての出店でしたが、多くの方に関心をもっていたいただき、大盛況となりました。



▲「SDGsじゅうろくマルシェ」での出店販売の様子

今後も積極的に県外でのイベントにも取り組んでいきたいと考えています。

▼OKBふれあい会館

OKBふれあい会館2階で、アトリウムライブが開催される毎週火曜日や、土・休日に年に数回開催される季節のイベント時に合わせて、障がい者就労支援事業所が出店しています。イベントは家族連れの方で賑わい、手作りパンやお菓子を中心に売れ行きが好調です。



▲OKBふれあい会館「クリスマスフェスティバル」での出店販売の様子

▼岐阜県庁

岐阜県庁1階で、毎週木曜日に開催される昼食販売、および月1回、第3金曜日に開催される展示販売に障がい者就労支援事業所が出店しています。

昼食販売では、各事業所の手作りパンやキッシュ等を販売しており、また展示販売では、シフォンケーキ、クッキー等の食品から靴下、雑貨等さまざまな手作り商品を販売しております。県庁職員をはじめ一般の方にも、幅広くご購入いただいています。



▲県庁「昼食販売」での出店販売の様子

②常設店舗

ぎふ清流里山公園（美濃加茂市山之上町）、OKB牧場（大垣市郭町）、岐阜県美術館（岐阜市宇佐）、各務原市中央図書館（各務原市那加門前町）の4会場の一角

で、常時セルフ商品を販売していますので、お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



▲「ぎふ清流里山公園」での常設店舗の様子

その他の事業について

▼「企業・店舗&障がい者就労支援事業所」セルフ（ビジネス）マッチング商談会in「オンライン」の開催

障がい者就労支援事業所では、一般企業・店舗を対象に、障がい者就労支援事業所が提供できる作業や商品を知っていただき、提案させていただく機会を商談会、オンライン（Zoom）にて開催しています。

▼商品研究・開発

コンサルタントの派遣、研修会などを実施し、セルフ商品の質の向上や生産技術向上のための支援・協力を行っています。

今後のセルフ支援センターの取り組みについて

当センターでは、引き続き障がい者就労支援事業所への支援に取り組んでいきますが、来年度は、コロナ禍における新たな販売機会の確保を目的として、オンラインショップの開設を計画しています。（詳細は後日紹介予定）

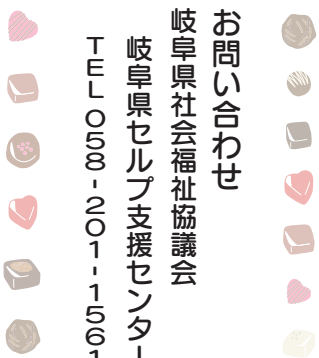
今後も障がい者就労支援事業所のニーズに応えられるよう努めていく予定ですので、よろしくお願ひします。

お問い合わせ

岐阜県社会福祉協議会

岐阜県セルフ支援センター

TEL058-201-1561



福祉の職場の離職問題 〜その対策は〜(その5) 『福利厚生の充実』

今月は、「福利厚生」の充実が人材定着につながっている県内の福祉事業所の事例を紹介します。

福利厚生については、法律で定められている制度以外の各法人で導入されている制度が定着につながっているという声がありました。

垂井町にある社会福祉法人白寿会では、1日10時間労働の週4日勤務(つまり週休3日)制を導入しています。その結果、人手が不足する朝夕食事時の利用者への勤務シフトを勤務時間内に収めることができるなど、残業が減少したという声がありました。従来の8時間勤務と16時間夜勤勤務に加え、10時間勤務制も選択肢に加えたことで、職員は、家庭の状況や多様なライフスタイルに合わせて無理なく働くことができ、現在、いぶき苑別館勤務者の2/3は10時間勤務制を選択しています。10時間勤務者からは、週休3日になることで、プライベートも充実したという声が多く聞かれるとのことでした。

各務原市にある社会福祉法人

フェニックス・特定医療法人フェニックスでは、子育て世代の従業員支援として、事業所内保育所を運営し、週末・長期休暇は学童保育も行っています。保育所を利用する際には、法人独自の託児料金ポイント制を設けていて、子育て世代の従業員の「がんばり」に対して、客観的な指標を用いポイントとして付与し、そのポイントを託児所利用料金に反映させています。

例えば、子育て中の職員が土日に出勤するとポイント加算があり、託児所を通常より低い金額で利用できるため、子育て世代のやる気を喚起しチームワークの改善にもつながっているというところでした。

今回取り上げた記事は『介護・福祉人材の定着事例集』からの抜粋です。全文は当センターホームページでご覧いただけます。(続く)

岐阜県社会福祉協議会

岐阜県福祉人材総合支援センター

(058) 276-2510

人材センター

ホームページは

こちらから



令和3年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		▶ 年額保険料(掛金)			
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)	定員	基本補償(A型)	
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円	1~50名	35,000~61,460円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円	51~100名	68,270~97,000円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円		
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円		
	身体・財物の損害を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円		
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円		
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円		
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度		
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円		

▶ 年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
100名以降1名~10名増ごと	1,500円

見舞費用(任意) 付補償(B型)

基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】
定員1名あたり
入所: 1,300円
通所: 1,390円



スケールメリットを活かした

充実した補償と
割安な保険料
です。

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
保険会社 TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

令和4年度

「ボランティア活動保険」等改定のお知らせ



◆【重要】ボランティア活動保険「特定感染症重点プラン」を加えて、3つのプランとします。

ボランティア活動保険新規加入の場合、従来のプランでは補償開始日から10日以内に発病した特定感染症に対しては補償の対象になりませんでした。特定感染症重点プランでは補償開始日から補償の対象となります。

従来の加入プラン

		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円（限度額）		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外（*）		
地震・噴火 津波による死傷	×	○		
賠償の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）		
年間保険料		350円	500円	

令和4年度加入プラン



新設

		基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円			
	後遺障害保険金	1,040万円（限度額）			
	入院保険金日額	6,500円			
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外（*）	初日から補償		
地震・噴火 津波による死傷	×	○	○		
賠償の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）			
年間保険料		350円	500円	550円	

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。



ボランティア活動保険にご加入でしょうか？

ボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任を補償します。

具体的な内容については、
お住まいの地域の社会福祉協議会へお問い合わせください。

ありがとうございました!

株式会社敬愛様より寄附

12月15日、株式会社敬愛（マックスグループ）様へ感謝状を贈呈いたしました。

株式会社敬愛様は、社会貢献活動の一環として「1円チャレンジ」（毎月1回、来店者数×1円を寄附）という取り組みをされており、平成26年6月より本会へ毎月継続して寄附をいただいております。

寄附金は、地域福祉の増進のため、本会事業において有効に使わせていただきます。

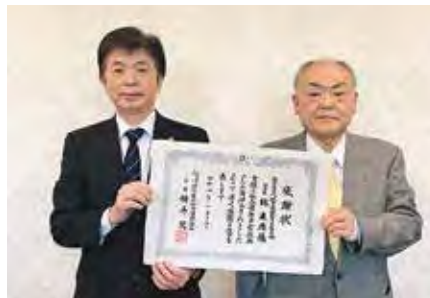


▲株式会社敬愛 スタッフのみなさま（写真中央右）と
県社協 小林常務理事＝県福祉・農業会館

一般財団法人岐阜社会福祉事業協力会様より寄附

一般財団法人岐阜社会福祉事業協力会様より、10万円の寄附をいただき、1月19日、本会より感謝状を贈呈いたしました。

寄附金は、地域福祉の増進のため、本会事業において有効に使わせていただきます。



▲一般財団法人岐阜社会福祉事業協力会 林 直康理事長
（写真右）と県社協 小林常務理事＝県福祉・農業会館

障がい者就労支援事業所 商品展示販売会

「岐阜福祉の杜」開催のお知らせ

毎回、ご好評をいただいています障がい者就労支援事業所 商品展示販売会「岐阜福祉の杜」ですが、今年度最後の開催を「イオンモール各務原」において行います。

岐阜県内の障がい者就労支援事業所で作られた食品や雑貨、日用品などを取り揃えております。新型コロナウイルス感染症には万全の対策を行っておりますので、どうぞお気軽にご来場くださいますようお願い申し上げます。

「岐阜福祉の杜 inイオンモール各務原」

期間：令和4年2月15日(火)～2月18日(金)

10:00～17:00

(最終日のみ10:00～16:30)

会場：イオンモール各務原1階「センターコート」



令和3年度
第1回イベント
開催時の様子
6月14日(月)
～18日(金)
イオンモール各務原

お問い合わせ先

岐阜県社会福祉協議会 施設福祉部 (担当：野村)
〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 TEL 058-201-1561

お詫び

福祉だよりぎふ1月号に掲載しました、令和3年度岐阜県介護支援専門員実務研修受講試験結果につきましては、掲載内容に誤りがありました。正しい合格者数は222名です。

*本誌に対してのご意見、ご要望等ございましたら、下記までお寄せください。

発行所 社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会 〒500-8385 岐阜県岐阜市下奈良2-2-1

TEL(058)201-1545 FAX(058)275-4858 ホームページアドレス <https://www.winc.or.jp/> 購読料30円は会費に含む 毎月1回・15日発行